

メッセージ

世界の恒久平和の実現に向けて取り組んでおられる皆様方の活動に対し、深く敬意を表すとともに賛同いたします。

原子爆弾により30数万人の尊い命を奪った惨禍から、70年という年月が経過しました。しかしそれは過去の出来事ではなく、今なおその後障害は被爆者を苦しめ続けています。あらためて平和と命の尊さについて考え直さなければなりません。

昨年末の国連総会で決議された新たな核軍縮の公開作業部会が、ジュネーブの国連欧州本部で2月22日から行われました。作業部会では、参加した各国政府・市民から核廃絶を求める声が相次ぎ、核兵器禁止条約の制定に向けた機運の高まりを示しています。

核兵器のもたらす危険性は、決して被爆地だけの問題ではなく、世界が抱える問題です。尾道市でも、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、今後とも取り組み続けてまいります。

「アースキャラバン2016」を通して、参加された皆様が平和への思いを共有し、また核兵器廃絶の声を大きく発信されることを期待しております。

皆様の今後益々のご健勝と「アースキャラバン2016」の成功を心からお祈りし、メッセージといたします。

平成28年4月26日

尾道市長

